

令和5年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立金曾木小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・到達度テストなどにおいて、文章と図表を結び付けるなどして、必要な情報を見付けることの到達率が6割程度である。 ・言葉の意味や使い方を理解し、正しく書いたり話したりすることの到達率が7割程度である。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて資料を正しく読み取り、分かったことを表現することの到達率が7割程度である。また、学習内容と日常生活の関連を図ることも課題。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を正しく捉えて解決すること、式や図を用いて自分の考えを説明することについて、到達率が7割程度である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な用語を確実に理解し表現することの到達率が7割程度である。 ・実験の方法を考え、実験結果から自分の言葉で考察を導き出すことの到達率が5割程度である。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を正しく選択しながら受けとめ、適切に伝え合う力。 ・言葉に興味をもって進んで語彙を増やし、正しく理解して使える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個で学ぶだけでなく、協働的な学習をより多く取り入れることで伝え合う力を高める。 ・月に一度、既習事項確認テストを行い、基礎学力の定着を促進する機会を設定する。 ・日常的に国語辞典を使用させ、語彙を増やす機会を多く設定する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を取捨選択し活用する力。 ・学習内容を日常生活と結び付けて考えることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取り方や分かることを共有する機会を増やし、理解を深める。 ・毎日取り組む家庭学習で、学習した内容と結び付く調べ学習を課したり、興味のあることを調べたりさせ、授業の中で調べたことをまとめさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を捉え、正しく立式する力。 ・既習事項を定着させ、自分の考えを説明する力。 ・難解な問題にも粘り強く取り組むことができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出題された数を簡単にして、文章題の意味を考えさせ、立式する。 ・考えを広げたり深めたりする協働学習と自力解決の時間を確実に設定し、自分の考えを文章等で説明させる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を科学的に捉えて考えたり表現したりする力。 ・問題を多面的に追求し、解決する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科に関する用語を正しく理解させ、授業の中で使う共通用語として定着させる。 ・観察や実験の基本的な技能を身に付けさせ、自ら解決方法を考えたり、結果から考察したりする時間を確実に設定する。